

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

Kodak
LICENSED PRODUCT

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

新製萬國輿地圖說

歐羅巴洲人員兵勢總說
補
歐羅巴洲總括

ル 2
3287
3

共六冊

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19
JAPAN
TA-MINA

西洋人撰述譯本

萬國輿地圖說



雲峯閣藏梓

萬國輿地圖說

歐羅巴洲總括

昭和45年7月1日

不詳氏贈

高市町立圖書館藏

名義詳ろくを或曰歐羅巴の往古の厄勒祭亞

國帝都の名なり其府城宏壯人民繁盛なるを

以て當時那多里亞及び厄日多國より此府の

近隣と併して皆歐羅巴府の前後幾里の地を

云再來土人其花名と喜ひ遂に通稱して闔州

の總名とん

此洲の疆域北に冰海ふ至り東に亞細亞洲と烏

門ル2
號3287
卷3

落兒山及び北高海黑海等と以て界となし南の
地中海より亞弗利加州小劃断し西の亞太臘海
と限る其洲と分て北中南の三大部とて氣候總
て寒し惟南面の方向海小面するの地の較暄暖
なり其人物風俗同しうらぶらぶと雖ども要する
通國皆一夫必ど一婦其言語の原據する如三種
あり一曰羅甸語方今意太里亞拂郎察伊斯把泥
亞波爾杜瓦再等皆之小原く二曰獨逸語嘆咭喇
和蘭弟那瑪爾加諾爾勿祭亞及び獨逸小管轄を

る諸國皆之小原く三曰斯刺勿泥亞語翁加里亞
魯西亞諸屬國及び都兒格の一部皆之小原く其
幣錢ハ金銀銅と用ゆ其人種闊國皆身材長大赤
髮紺瞳其性くふ伶俐しして天文地理の學小長
し又術藝小巧なり常に好て異域より通販を其學
五科あり一曰治科二曰醫科三曰教科四曰道科
五曰度學其常食と蒸餅と云製造麥と用ゆ其衣
窄袖襦袴りて其足と裹む其屋ハ磚牆木棟累層
とあり六と六七高さ三四丈闊洲廣袤里方十五萬

五千民口一億八千餘萬就中帝國と稱する者三
あり曰獨逸曰都兒格曰魯西亞其下尚侯国共和
政治等の國あり

都兒格往昔厄勤祭亞國と云ふ○歷山王此小産
る○今八州小分つ其首府と公斯瑞低諾波爾と
云○邏瑪帝東都の舊址○戸數八萬人口八十一
萬其軍威極めて盛烈其屬国亞細亞亞弗利加小
跨る○亞細亞亞弗利加各國條下と參考をく
○其政刑極めて嚴酷なり此國歐邏巴州中小あ

りと雖ども超然獨立曾て其諸州の會盟不與
らざ其奉ずる所の法教ハ嗎哈默多派なりと以
て其國紀元と稱する者亦同し或曰嗎哈
默多氏默加より○地名○追放せし一年を以
て紀元第一年と定むと云ふ○按ずると嗎哈默
多の默加より追放より年ハ乃ち 我弘化二年
と距ること前一千二百餘年と云○其位
ハ血統の男子小非ざまハ讓らざ帝の親衛武官
常小二十人後官閹官一萬餘人又至る其費一歲

中記より所四千萬金不下らむ近二三年來府内
小大學校と建て四方の智謀軍師と募りて兵書
と講べしむ太子も亦弟子の列に加りて軍と出
るとさへ帝自ら將たり其兵權へ決して臣下小
委ねど其人勇敢死を畏まど騎馬十二萬歩卒此
不准ぞ軍艦大小六十五大煩二千百五十六昔時
意太里亞人の諺小曰白哲人五人へ都兒格の一
人小敵しごとくと爾來魯西亞佛蘭西暎咭喇等
の如き大小火器の便を得しより屢々戰て都兒

格の所領を侵蝕と當時又評して曰く都兒格の
五人へ白哲一人小敵とべりうが都兒格人憤怒
ふ堪へど大は火術と調練を今日小至りては兵
威古小十倍すと云其旗章三半月と號とを其近
海中は歐里普斯と云如あり海潮一日は七次を
古賢亞里斯多○歷山王師父の名○其理と極め
んと欲して得ぞ遂ふ水小赴て死をと云其近傍
島海中ふ一島嶼あり哥斯古名「ロンプ」と云醫聖
依ト加得氏此は産を此國歐羅巴州中の上國小

して氣候中和百物備らざる者なく風俗通国皆
米と常食とを惟嗎哈默教と奉ずる人多るが故
小豕肉葡萄酒と飲食すとと嚴禁すと云闔州廣袤
里方八千八百民口九百五十一萬四千餘土產上
好。米。麥。阿利。襪。繭。絲。木。綿。等

太爾馬祭亞五縣分つ其一部都兒格小屬と
其首府とトリビクと云人口六萬四千あり此
全州本の意太里亞國小隸と近四十年前獨逸
帝此地と割て佛蘭西偽帝勃那拔兒的小與ふ

是小於て勃那拔兒的此國と意太里亞の屬地
とあり其下官と遣りて此地の租税と納しむ
我文化十年獨逸帝大兵數萬と發して此地と
擾乱し大よ其土地と併と爾來長く其管轄と
なる其首府とサラと云人口六萬四千闔州廣
袤里方二百五十產物五穀酒油と魚鹽の利
あり
翁加里亞往時の周圍廣大なりて七國分つ
斯刺勿泥亞其一小居る今ハ二部分つ又四

道あり首府とスリスベルグと云人戸二萬七
千有中學校及び病院幼院ありて百姓の貧困
なる者と撫育を此國本自立の王國ありて其
威近隣と服従と當時太爾馬祭亞国の如きも
其所屬と云近世不至りてハ都兒格と戰て屢
敗歟又其封内數所と奪領せしむると云其後
闔州舉て獨逸の管轄せしむる所となる闔州延袤
里方四千一百六十九民口百二萬八千五十二
產物金銀銅鐵山鹽名酒其酒の品四百種あり

トカエルと稱する者と最上とを其部内の大
河に駁しく鯉魚と産を或ハ時々て其兩岸
小飛躡とすることあり又多く牛馬と出そ土人
之と勿能府と牽て貿易とと云
波羅泥亞本自立王ゆりて兵威強盛城郭亦堅
固なりしが近三十年前不至りて其臣下の不
和よりして國內干戈止とをなく人民半ハ離
散を俄羅斯國主之と聞そ虚小衆して騎歩數
千と率ひ來りて此地と併有を再來封内皆其

版圖小入る其首府と「ワルスコウ」と云。人口七
萬六千戸數三千四百六十五封内俄羅斯獨逸
亭漏生共和政治の處あり是と「カウカウ」と云
民口六萬一千其周圍十九里餘極て肥沃の地
より閩州廣袤二千五百箇土人の蠢愚ありて
勇氣あり其口數凡二百五十萬一説小曰二百
八十餘萬產物五穀馬良鐵山鹽鉛琥珀
魯西亞又俄羅斯と作る其封疆坤輿中第一の鉅
邦ありて其境界歐邏巴より起り中北亞細亞小

漫衍し加摸沙都加小至りて直ちよ 我與蝦夷
諸島の地と一衣帶水と隔るのよ其封域歐邏巴
洲小係る部廣袤里方八萬八千箇人口三千五百
萬中亦大鎮四十所あり其帝都と「ペイトルヒユル
グ」と云戸數八千。人口軍卒と合して五十七萬氣
候へ總て酷寒其甚しとと氷の水銀凝固して流
動せざる小至る其北方臘皮亞と云る國の如き
ハ冬日常に薄夜の如し故小此國往時部内人民
衣食給せざる所多し加之蘇亦齊亞人屢々大舉

して其所屬礼勿泥亞の地と侵蝕し其勢猛烈大
小莫斯科府小○魯西亞舊都府の名○事ゆらん
とと前百五十年伯德球と云英主起り憤懣感激
不堪へど大に武備と増脩し又竊に身と船工役
夫に變じ嘆咭喇和蘭拂郎察等小至り其國政演
武通商等の事と熟察し三年ありて因に還り新
小數多の商船と造り五大洲中又貿易し又役夫
と発して大に山川と開達し東に遠く支那に通
し南に北高海に達し是に於て人煙繁盛し食足
り衣給を其近隣干戈と動して歸伏する者
數十國の一説小曰魯西亞帝號と稱すること此
小始む○帝殂して後其后妃名ハカタリナ又能
く其志と継ぎ更に北亞墨利加洲北地小人種と
移と云其亞細亞洲中又屬する所領と止百里亞
と云邦疆本領二十倍と其部中大鎮あり托波爾
斯科と云人煙頗る稠密列肆概ね八萬家人口百
七十萬此府と止百里亞中の首府となす府中工
作場あり好皮革及び大黃火酒と出ると惟其家屋

木造なるを以て舞馬の災あることあり火勢猛烈
ありて近づくべうど或は時として府内と一
掃とあり其以爾格都加領小近と如く地生
羊と産と甚ど大なるを春長莖と抽と純茸と生
ど其形恰も羚羊小似たり常は其周囲の草卉と
蠶食と人試ふ之と断刺とれば赤色の液と流出
と其味甚ど魚蝦小似たり土人之とホラメツと
名づくの按どるは西洋襍記中地生羊の記載あり
本草綱目と引て曰く地生羊出西域劉郁出使

西域記以羊臍種于土中溉以水聞雷而生臍之與
地連及長驚以木聲臍断使能行齧草至秋可食臍
内後有種名瓏種羊其東邊加摸沙都加岬より南
西に當り數島嶼あり我奥蝦夷諸島小連接を
其俗粗加摸沙都加小似たり○亞細亞詩中本土
の記載と参考をく○問々其唇邊は黧婦人
の耳朶は環と穿つ者あり其食は常は海族或は
山野の獸畜と啖ふ又如々鎮所あり地方の産物
租税とあつむ其法男一口ありて獸皮一牧と納

ひ吏之とべイトルビュルダ府小輸送を其府内工
作場あり其皮革を鍊製し諸種の器什を造り之
と五大洲中小交易し夥しく利を獲ると云是等
の經濟悉く伯德球帝の意匠より出て後世子孫
皆准用して敢て變革せらるることなし今日小至り
てハ其國政風俗の美軍隊兵及の備具せらるること
西洋諸州之小比類をぐさ者寡し其徴とをぐさ
ことハ近世佛國偽帝翻山倒海の勢を以て攻入
しに遂に克つこと能はざりとのをぐさ却て一

敗地不塗ると以て證とをぐさ一閩州軍人騎歩七
十三萬零々三十三軍艦大小二百七十八旗號ハ
皆雙頭鷲を用ゆと云土産小麥山鹽皮革材木峰
蜜又奇異の鑛鐵と産と一ハ黒色一ハ赤色あり
て黄と帯お其性みか堅緻ありて炮煩と造る小
良とを
寺漏生東西二部小分つ然れども土壤接續とを
小ハありど其府とコラニンダスベルゲンと云
商戸五千民口五萬五千西部の首府とダンチフ

と云戸數五千三百五十四民口四萬五千此地小
國王遊息の園あり河不臨む極りて明媚なり又
高名「フアントルス」の墓所あり部中奇湖あり其
周圍頗る廣大其水三歳の間満盈し驟しく魚蝦
と生し次で三歳の間ハ乾涸して其中に播植を
し一闔州赫勿婁亞國の一部と合して廣袤里方
五千箇民口一千零五十萬八千百五十七土産上
好琥珀五穀苧麻材木現今ハ國王獨逸の連合州
小加る

獨逸又窩々矢旬礼幾又黃旗小作る分て上下二
部十道とと此邦歐邏巴中正統の帝國ありて其
下尚數十の王侯ありて是ハ朝宗を故ふ其文物
禮樂の盛なりこと闔州之に比をぐる者なく其
都と勿能と云民口二十三萬八千七十七軍卒二
十萬此國今と距ること四十九年前佛蘭西偽帝
と戦と交へ屢々敗衄を是ハ放て其臣下の侯伯
勢威あり者ハ反て獨立國となり暗に聲援と佛
國に仰ぐ者凡そ十六州當時此と列應共和州と

云其勢微弱の徒ハ佛國管轄となり却て獨逸小
敵より者あり 我文化十年佛國偽帝俄羅斯の
為小敗劔レより侯伯又舊小復レこととを得
より其上部小高山あり牙而白と云意太里亞拂
郎察獨逸三國小播豆レ其支派分れく十山とる
る絶頂ハ四時雪あり就中高と者其頂と海面と
抜くこと一萬四千七百尺或ハ一萬四千五百八
十尺其最も低と者亦五千五百尺小下らど其山
の向背小因りて晴雨寒暖と殊小を昔時邦人此

山と踰て隣國小往還とると難くとと近五十年
前佛蘭西偽帝勃奈跋兒的大小役夫と祭して新
小四道と拓く其中硤研開とくくくざふ如ハ石
棧と架と長さ八里是よりして車馬安穩有無互
小通ど今日に至りて隣國の人民皆之と便なり
とと閩州民口三千萬廣袤里方一萬一千六百箇
産物金銀鐵汞鉛銅穀物葡萄又工場あく多く
大小煩と作る○按るる小炮術原始の事西書中
衆説同くくど然ととも 我元應二年○西洋

紀元一千三百二十年の比○獨逸國の僧官名ハ
拔爾獨兒度と云者試験中偶然ニ發明セリと云
と德當なりと云

第那瑪再加此州歐邏巴洲中第一の舊王國あり
て其土壤の肥沃懇閑せること亦近隣の諸州之
小及ぶ者なり其首府と郭逆法瓦と云民口十萬
戸數三千二百餘互市頗る繁盛旅客每小多し此
國三面皆海ニ瀕と故ニ氣候極めて寒烈といへ
ども舟楫の利最も便なり部中港脚數十所あり

皆一港ごと小數十の軍艦と維で非常と戒しむ
其令最も嚴なり國王遊息園とロウセコヒルク
小營と四時奇花と養ふ此國六十年前ニ至るま
でハ兵威強盛ありて魯西亞といへども讓らば
當時諾而勿惹亞の如きも其所屬より佛蘭
西偽帝の大乱よりして其封境大小蹙まり其屬
國と稱する者今ハ纔小依蘭土一州と餘そのと
閩州廣袤里方二千五百箇民口千六百萬土産五
穀良馬羊煙草大煩

涅埜爾蘭土十七州分つ其半ハ和蘭国王小属
と其首府とアムステルダムと云戸數二萬六千
八百三十五。人口十七萬三千二百部中病院ひやういん幼院よういん
リキウ藥あきま論ゆの院あり又五層塔あり高と三百三十
尺國王の居城ハデレハアーガの密林みつりん中ふあり
此邦本侯位をり一に近三十年前ワアトルロラ
ろ○地名○軍功よよりて○佛蘭西偽帝との大
戦と云○遂つひ小王位れい小列れいをりことを得り其國
王小所屬をり部九州曰くゴロニンゲン曰く「フ

リースラント曰く「デレ」テ曰く「ラ、フルイ、
セル」曰く「ゲル」デララント曰く「ユト」レキト曰く
「ホル」ラント○漢譯和蘭○曰く「ゼイ」ラント曰く
「北」ブラバント「其他又近世ふ至りて「ヒキ」センビ
ル」グ○國名○大侯官と兼るを以て獨逸連合州
の内ふ入る其「ベル」キ「所」領と稱する者亦九國
あり曰く「南」ブラバント曰く「ア」ント「左」ルペト曰
く「西」フラアン「デ」レト曰く「東」フラアン「デ」レト曰
く「ム」ヒルグ曰く「ロイ」ク曰く「ヘ」子「ゴ」ウ「ク」ン曰く

ナアメント曰く「ルキセレブルグの一部其廣袤和
蘭國王所領ニ比シて更ニ廣大ナリ」と接シ
ル小ベルギー主其先獨逸より出づ近ク五十年
來涅埜爾蘭土の南部ニ於テ新ニ國ヲ建ツ其初
めハ佛蘭西ニ屬シ三十年前小至リテ反テ和蘭
國小管轄ト然ルニ 我天保二年の頃國民法教
の事よりして大ニ争乱ト起シ土豪名ハ「ポリ
ポルト」と推テ上將ト々々佛蘭西國又暗小之
聲援ト々々和蘭國王大ニ憤怒ニ堪ヘト屢々之

と攻めども克クば後小ハ土豪佛蘭西の女と娶
リテ子と産ビ爾來其屬國トナリ其旗號ハ赤黒
黄の三色ナリト云闔州兩主の所領と合シテ廣
袤里方千百六十五箇民口五百五十萬土産穀物
苧麻西洋布

佛蘭西八十六州小分ツ其首府と把理斯と云舎
搦河畔小あり城門十八街衢七百十三あり府内
人煙擗比百貨具々々々のナリ戸數三萬人
口六十萬諺ニ曰佛蘭西の人民ハ伊斯把泥亞の

馬の如しと蓋し其數過多なりと稱贊するなり
其人伶俐ありて能く百事に勉強を故より又獨逸
人の諺小曰佛人の友朋と為るべし隣國となると
べしは是其奪掠と畏れくまり府内大官廳あ
り製造奇巧百年ありて成る其樓上國王騎馬の
像あり黄金と以て鑄造を重と四十貫ありと云
土人常小咲咭喇人と互に自國の繁花と誇揚を
其論今又至りて絶へど咲人難トて曰く把理斯
府ハ龍動府より小一なり戸數又少し二なり

身居寡し三なり望城の數少し四なり夜中人と
饗應するること少し五なり佛人も亦之と解して
曰く龍動ハ境地長しといへども把理斯の圓大
小如りど龍動ハ戸數多しといへども三層樓小
過を把理斯ハ皆六七層小下らど龍動の婦女々
情慾多し故より子と産すること多し龍動ハ氣
候不和なるが故小死する者多し咲人ハ常小罪
障多し故より人と夜饗して之と懺悔を其咲
咭喇國は對する地は一鉅城ありがライス城と

名く要害極めて堅固往時倭人小陥らるる當時邦
人切齒して曰若しカライス城と恢復すること
と得ば三月絶飲囚獄に繋るも亦辭せど後十七
年あつて復することを得り倭國女王深く之
と憤恨し其死に瀕するるとき充右に告て曰孤若
し死せば試み解剖すべし心頭必しカライスの
文字ありん其二國昔時よりして抗拒相容まざ
ること概ね此類なり其國王所持する所の軍艦
大小二百八軍卒二十五萬の勃那拔再的の盛時

の騎歩九十五萬と記載せり○徽號ハ皆百合花
の章を用ゆ此國昔時より超然たる王國ありて
其兵威の隆盛なること近隣之に比する者なし
其位ハ必し血統男子不譲ると以て規となせし
ふ五十年前より國中争乱續々起り國王之を征
服すること能はざり遂に關州皆共和政治州とな
り而して那波礼翁勃那拔爾的と以て其長とす
し是は不於て勃那拔爾的氏反逆の志を發し自
ら第一世帝と稱し大に歐邏巴諸州と併吞せん

とと然まども遂不志と逞しふせどして近三十
年前西洋諸州大小會盟あり爾後舊の国王位り
復とることと得たり闔州廣袤里方一萬四千二
百箇民口二千九百萬餘○勃那拔爾的の盛時々
闔州と百三十州と分つ人口四千二百萬と記載
せりの部中一異草あり海中と生ど春時水面ふ
花と開と雄花の精液と受け妊して後凋て又
水中と潛と實と結ぶ土人之とスリス子りやと
名く又曠原中と潮湖あり結さしとる白鹽と生

ど恰も百爾西亞の山阜又ハ亞弗利加の大沙漠
中と凝鹽と産とるがごとく産物上好葡萄酒金
銀五穀苧麻阿利襪其他百物産せざらハや又
一歳中と兩度穀と收むる処あり
伊斯把泥亞十道三十州と分つ其都と多勒多城
と云民口十六萬八千寺院大小八十四又諸種の
學積あり府内牛鬪觀場と建つ制度廣大極めと
偉觀と云其南部高山あり子ハタと云直立一萬
二千七百尺秋日晴澄らるとさハ其半腹より亞

太臘山と天末と望むべし其北海と夥しく鱗族
と産を此歐邏巴中とありと雖ども氣候頗る炎
熱なりが故と他の歐邏巴洲の如く獸畜と食と
せど多くの海族と以て之と充つ此國沿海地方
潮退ひて後水氣蒸騰して自然と一種の白鹽と
結成を其風味極めて佳なり部内一奇水あり「チ
ント河と云其水黄色人試す物と投ぎるとその
先づ其色と混じり漸く化して石となる川身魚と
産せど其兩岸亦草卉と生ぜど窮理家の説よ曰

其水銅氣と含む故と然り邦人昔時波爾杜瓦爾
人と約し亞墨利加地方及び東印度諸島に至り
相互に貿易とを夥しく利と獲ると云然れ共
後小の二國相容と互に恨むと結び争論續と
起る是小放て邏瑪の法皇二國の爲め小解と作
して曰く亞墨利加の閣龍始めて檢出せると以
て伊斯把泥亞人隨意と其地と領とべし東印度
の瓦媽始めて通販せしと以て波爾杜瓦爾長之
と領とべし後世孫心是盟小背く者ハ神明共し

之と罰とをば一再來伊斯國ハ西方の交易と掌り
波爾杜國ハ東海と貿易と但東印度の利益西海
小比とをば十倍とを以て伊斯國王忽ち一計
と案して曰天地ハ元混沌圓球の端をさぐ如し
夫豈東西の別ありんや西方海と進で止まざる
とさハ其東海と至らんこと必せり即ち侍臣小
命して大舩五隻と裝飾一鍼路と西と取り墨瓦
蘭峽と過て遂に東印度ヒリ。ペイと諸島不至り
夥しく芳香藥料及び諸種の器械と獲又其地より

戌卒數百と置て祖國小還ると云是よりして伊
斯國都の繁昌歐羅巴州中比較をばさ者なり然
るに近世に至りて和蘭佛蘭西暎咭喇等の勢増
盛し續で其領地過半と奪掠せしる是よりして
國威漸く衰弱兵勢復と振はざると云屬國數十如
就中亞墨利加洲中最も多しとを閩州廣袤里方
八千八百零六民口一千一百万土產穀物良馬最
上羊上好酒木綿煙艸黃橙佛手柑國內方向小よ
りて一歲中穀物と兩度收むる如あり其豊饒知

るべきなり

波爾杜瓦再往古ハ伊斯把泥亞の所屬と云數生
の後自立の王國と成る國中六部ニ分つ其府を
里斯波と云得苦河小臨めり城門三十九樓櫓七
十四あり四達皆繁庶ありて旅客雲の如く聚ま
る民口二十六萬四千闔州廣袤里方一千九百三
十五箇人口三百六十八萬其他海軍の隊士五萬
六千土人性溫柔ありて躰格軟弱他の歐羅巴人
の健康小如りど此邦昔時より廣く四方ニ通販

と其往昔ハ歐羅巴州より亞細亞洲ニ至ると云
ハ先づ地中海小浮ミアレキサンテリヤ府港小
入り是よりして人馬の力を借り蘇厄私地峽を
經て西紅海小棹し而して後印度地方ニ出づと
云 我明應五六年の比ニ至りて邦人名ハ瓦媽
かり者始めて亞太臘海を經て喜望峰を過り印
度海ニ出るの便路を得しより交易日小繁昌し
て近隣比類なき富を致すと云然まども後世小
至りてハ和蘭佛蘭西映哈喇伊斯把泥亞等の入

其船路せんろに從したがひ亞細亞洲中得意とくいの交易場かうぎじやうばに續つづき
至いたり遂ついに此等の為めために數如たうじゆの埔頭ぽうとうを奪掠だつりやくせし
と近世きんせいに南亞墨利加洲地方なんあむれいかにしゆ伯西兒國はくせいじこくに於て利
益りやくを得るのそと云土產米酒鹽金鑛水晶夜光瑪瑙ばなう
部中金銀坑ぶちゆうきんぎんありと雖ども邦人之と取とることを
屑くずとせむ

赫勿萋亞へくふしや二十四府にじゅうよんふに分つ其一部いっぶ寺漏生じろうせい小属せうじゆくを
子こウシカツテルと云此洲四面皆大山ありあり牙而あら
白はく山最も近ちかし其大府たいふをこユリセと云人口十萬

六千或ハ曰十萬九千二百府内小巨大せうこくたいの瀑布たふたあり
り列應れつお河がに傾瀉けいしゃを其幅ひろ三十丈高さ六丈四尺其
響ひびと數十里すうじゆりに聞ゆ其近傍きんぱうの土つちノ或ハ旭あすひの昇のぼる
と云此小數種せうしゆしゆの虹霓にじを現出げんしゆつするを見ろと云又
古賢こけんベスタロベスタロ先生せんせい建たる所の學校がくしやうあり生徒せいと常
小四百餘人或ハ六七百人せうしやうに餘あまることあり其傍
に聳たか啞あ教諭きやうゆの院いん及び瞽こ盲めう教諭きやうゆの院いんあり闔州かんとしゆ廣
袤まう里方九百二十箇せう人民じん一百七十一萬九千餘土
產銅鐵たうてつ大理石たいりしやく酒しゆ及牛羊じゆうやう

意太里亞又稱して殿堂領と云分つて九国とを
其法皇の都を羅瑪と云○獨逸帝西都の舊址○
三百二十ハの寺院あり營築極めて宏麗なり中
に聖伯多祿の寺あり高さ十六丈六尺濶さ二十
八丈餘其殿堂の周圍白黒石の牆壁に皆人物花
鳥を彫刻を府内軍學校度學教學及び幼院病院
聾啞教諭の院瞽盲養生の院又獸畜と養の醫校
あり部の南東に大府あり勿搦祭亞と云六十箇
の小嶼に跨り四百五十橋を架して往來と通を

人家皆無數の柱上は營を造築巧妙なり其地の
繁花百貨の美なりことありざりしものなり其府
の辺地は一層塔あり高さ三十三丈其尖頭上小
羽容の立像を建つ其高さ一丈六尺洋中より之
を望むに恰も十二三歳の小兒の如く府中宏大
の工場あり諸種の器什を造る其工人常小二
千人小減せざる嘗て貴人あり命して一鉅船を造
しむ食頃ありて功竣るを告ぐ貴人其袖速を訝
り又命して大煩を作らしむ亦頃刻ありて工就

るを報ぞ其百物を造る捷敏なること幸ね是
の^{こゝ}其旗章の金翅の獅子を用ゆ嘗て魯西亞
人難^んじて日金翅の獅子何^の地の地^うく獲るや土
人對て日雙頭の鷲を産する地^うく獲ると蓋し
魯西亞の旗號の雙頭の鷲なるを以てるり又部
中一奇坑あり深さ二丈餘幅甚ど廣く^うぞ人畜
誤て是^ふ入と^さの皆死と其西南海^ふ瀕^{らん}と^り列
と那波里と云火山あり終歲煙焰と噴く近六十
年前^{せん}發^{はつ}炎^{えん}と^ると最も猛^{まう}火煙遠近^{えん}散^{さん}乱^{らん}と邦

人是が為^ま死^しる者勝て算と^ぶく^くぞ其響^いと
地中海と越て遠く^{えい}既^し日多國^た聞^きゆと云其赫^く勿^ふ
葦^{あし}亞^や近^{ちか}さ^の列^{れつ}の地方六所と合して新^{しん}國^{こく}と建
つ名づけて撒^さ而^に地^ち泥^{でい}亞^あと云民口三百八十萬軍
卒十萬此國意^い太^{たい}里^り亞^あ部^ぶ中^{ちゆう}小^{せう}於^おて兵^{へい}威^い最^{さい}も強^{きやう}旺^{わう}
なり其他^た屬^{りく}島^ま齊^{せい}西^{せい}里^り亞^あ撒^さ而^に地^ち泥^{でい}亞^あ哥^か爾^に西^{せい}加^か馬^ま
再^{また}多^た〇以上^{いじやう}皆^{みな}亞^あ細^せ亞^あ誌^し附^ふ録^{ろく}中^{ちゆう}出^でつ〇其他^たの
小^{せう}嶼^い數^{すう}十^{じゅう}と合して閩^{みん}州^{しゆう}廣^{くわう}袤^{まう}里^り方^{ほう}五^ご千^{せん}八^{ぱつ}百^{ひやく}箇^こ民^{みん}
口^{こう}千^{せん}九^{きゆう}百^{ひやく}萬^{まん}春^{しん}秋^{きゆう}の頃^{ころ}の民^{みん}口^{こう}二^に千^{せん}萬^{まん}或^{ある}ハ二^に千^{せん}二

三百萬に至ることありと云土産數種あり第一
ハ五穀第二ハ金銀第三ハ上好酒其他油鹽銅鐵
瑪瑙太理石の類枚擧とぐりぐり氣候ハ良和寒
熱甚しうぐに歐邏巴中此域と以て第一の樂土
と云

大貌利太泥亞是和蘭佛蘭西の西海小あり所の
二大島の總稱なり其西なり者と意而蘭土と云
昔時自立王あり今ハ啖咭喇島又屬と一と啖咭
喇と云其一部北地と思哥齊亞と云其惣王啖咭

喇小都すと以て亦大啖咭喇國とも云今分つ
て五十二州とを中六十二侯ありて皆國王小
臣服と其都府と龍動と云人口百零五萬四達喧
闐ありて數所の互市場亦極めて繁盛西洋諸州
此地又比とる者々其府人煙擡比とると以て
家々の井泉給せさる處多し故に近世遠山より
水桶と接して水と引く其路程殆んど三十里毎
戸水槽と置いて之と受く亦人力を煩はざらん府中
大河あり爹摸斯と名く奇巧の橋と架と其長さ

百八十丈幅四丈餘夜よ至まままバ其橋上はしの上に數基の
燈火とうかと點ともして往來りゆうらい小便せうべんと其河畔かわのほとり炮臺てうたい數所あり
冨あふあふとさいいとと祭まつりを其矢丸やまる直ちちちりり水みづ面づらと注つ
射しやとぶーー又大學だいがく校あり生徒常じやう小數萬せうずまん減へせど
其聖寶斯せいぼうしの廟みやうと稱なづらる者高五十八丈餘其周圍
四十丈造築ぞうちく巧妙きやうぼう聖伯多祿せいはくとろく廟みやう譲ゆづらどの意い太里たいり
亞條あじょう小見せみゆゆ○其地そのちの近郊きんきやう國王こわうの遊園ゆうえんあり四
方五里ごり小餘せうじよる春時はるとき小至せうしままバ侯伯こうはく貴族きしゆ多く此小
遊觀ゆうくわんを時ときととててハ乘車じやうしゃ四五百輛しやうりやうの往還りゆうわんとと

見ると云其二島と合せて廣袤獨逸國里法りぽふああく
計かるる小五千七百箇民口一千八百萬零四千餘土
人常じやう好こので四方しやうほう貿易くわいぎと其船ふね大約たいやく二萬八千零
八十一其船上ふねの上小役使せきしととる率一十八萬四千名其
屬國領地しよくこくりやうち五大洲ごだいしゆ小延亘えんげんと其所屬數國しよしよくすうこくの地ちと合
一長ちやうと絶つて短たんと補おぎなへバ廣袤獨逸里法りぽふ十萬
一千箇里方せんげんりぽふたり國王こわう所持しよじととる外ほかの軍艦ぐんかん最も夥おほ
一其數大煩おほい四十門しじゅうもんより百二十門と備そなへる者八
百四十六あり○百十年前記ひゃくしよねんねんきととる所惟九十一艘○

故と以て海上の戦闘に於て西洋諸州之と抗衡
さる者甚ど寡し和蘭國軍艦の如き洋中と於て
遇ふとさへ遙に其旗章と伏て過ぐと云へり嶽
章赤白青の三あり就中最も赤と重とを其軍卒
ハ十八歳より四十五歳ふ至る者と以て規と以
騎兵一百九十九隊歩兵二百五十二隊其他印度
所領と畜ふる所の軍艦亦一百二十四艘軍卒六
十一レヂメント一レヂメントハ則ち八百六
十四名と云ふと云へり。其他騎兵及び西洋祖

國の白哲人常ふ此地とある者三レヂメントあり
りと云土産第一毛絨穀物上好錫馬羊苧麻大麻
及び數種の器什あり但鹽泉に乏し闔州皆海水
と煮て鹽と取る其地の北邊と數島あり皆啖咭
喇と服屬とヒツトラレドと云ふ者最も大なり
とあり其南邊佛蘭西國と對する所の海峡とカラ
イスと名づく幅員纒と十二三里便風一夜と往
還とぐべし部内又一奇洞あり遠と數歩ふとぐべし
其中常ふ濕溫點滴となると人試と百物と投ぐれ

バ皆化して石質の物となり漸くみして堅石と
なる此國本と羊と産とる百年前國王其侍臣小
命して伊斯把泥亜より羊幾數十頭と移し當時
嚴しく之と殺傷せりと禁ど而後國中駭しく羊
と産と其形ら皮毛の美伊斯把泥亜産小比とる
小更よ一等と加ふと云

蕪亦齊亞九部に分つ北部雪山あり氣候最も寒
し其首府と斯督汎福兒摸と云人口六萬二千八
百戸數六千一百三土俗勇氣ありて能く農耕と

勤め又時々亜墨利加州に至て貿易を此邦曾て
強盛なりしに百年前俄羅斯と戦ひ大に敗ぬし
て國王炮矢の爲よ没し國舉て俄羅斯の命を聽
しよ近世國人俄羅斯帝の姪女を請て是邦の主
とよ是小於て漸く其侵地を復して闔州八千六百
箇里方積民口二百六十四萬産物匠材皮革銅鐵
銀大理石諸種器什

諾而勿惹亞分て五大部と各々鎮所ありて
訴訟を聽く其首府を「キリスチアナ」と云戸數

一千五百民口一萬一千氣候最も寒し其地山嶽曠野多し故に多く船材を産を邦人之を貿易して食を充つ其人勇猛ありて義を重む然れども風俗野鄙智慮乏し國王本自立二百年前三十年前弟那瑪爾加不併せらる近三十年リセラフの大戦より遂に蕪亦齊亞太子の爲に不奪領口する然れども國政大事へ必む之を國王に決を闔州廣袤五千六百四十四箇里方積民口八十八萬三千産物鉅材鐵銅大理石

依蘭土譯して冰地とを諾爾勿惹亞の北海に在て弟那瑪爾加に属し其地噴火山あり歇加臘と云其高峻天と挿じ其麓如く噴火坑あり土人其上より木枝と連架して鐵鍋と釜と魚肉と割烹を云又温泉あり其迸出するの高さ九丈餘能く痼疾を醫とべし其人性溫柔魚骨と聚めて家を作ら又好で四方に遊歴を近世學校と建て生徒と教諭を民口四百萬九千其往昔卧兒狼徳より此地に悪疫流行し來て

遂ついに小諾コノ再また惹おこ西亞シヤ漫ま行んと土人之が為なりと死しと
る者勝かちて筭かぞふべりしを當時是と焦死コウシと名なづ
く爾來人口甚おど減少げんじゆと氣候酷寒こくかんありて終歲しゅうさい
纒つふ二箇月間水の流動りゅうどうと見る其寒最も
甚おしとと死しの氷と取とりて空中くうちゆうに撒揚まきあすまば地
上かみに降ふる間まひ皆凍固こして小片せうぺとなると云産
物ぶつ依蘭イラン苔コホリ鷲鳥コホリ白熊コホリ無枝葉木コホリ鯨魚クジラ
尖山スピア是魯西亞國の直北三百里スピアあり三大島
と云二百五十年前和蘭人始めて此地と檢出けんしゆ

と尋たづんで五十年又人種じんしゆと其南部なんぶへ移うつると然しかと共
氣候寒烈かんれつありて居住くじゆうととくく部中ぶちゆう巖石多がんせきおほ
し高峻かうけん哈呀殆ハヤど鋸齒のこぎりの如ごとし其形最も奇異きい其
最も高たかき者百五十丈此地終歲しゅうさい冬夏の二時節
あるのそ其夏日の僅わずかふ四十日よじゅうにちを過すぎむ然しかと
ども夏の初めはつめと至いたる氷雪融解ひょうせつゆうかいして氷海ひやうかいへ
漲あり落ち其處數萬の鱗族りんぞくと聚あひ草木の如ごとし
は其四十日間よじゅうにちかんに発生はつじゆうして花はなと開ひらき又能またく實み
と結むすぶ鳥族てうぞくへ常とこに太陽たいやうの面めんとと巖窟がんくつへ巢くわし

て其卵と字化と又冬の初め小至まば内地の
馴鹿羣とたりて遠く氷海と渡り寒と新增白
蠟及び止百里地方に避く皆奇事と云べし産
物。白熊。狐。馴鹿。苔。

○附言

東海是弟那瑪爾加と諾而勿惹亞と相對峙する
此の海門より俄羅斯國界に至るまごの海灣と
總べ云なり中は無數の島嶼あり就中大なる者
二あり皆弟那瑪爾加は服屬と一とヒュ子島と

と云一と「セーランド」と云其國王の都城是地と
あり之と「コツペレハーカ」府と云○弟那瑪爾加
本土の條參考とべし○其字漏生近き此の洋中
は夥しく珊瑚と産と土人々と取て交易すること
頗る盛なりと云其洋面の廣袤里方七千箇有奇
なり

○補

歐邏巴洲人員兵勢總説

本洲の各國人員と記載する書每家皆異同あり

或ハ某國ハ陽^{カク}一千万と記シ實ハ八百四五十
萬に過ぎど或ハ其實ハ五百萬なれ共軍人と出
ると難^{カク}四百萬と稱する者あり此を毎家の著
書ハ異^{カク}同ある所^{カク}以たり 我天保六年の冬又至
て西洋諸州自國の人員と詳載^{カク}しる簿記又據^{カク}
て諸學士自ら其地小至て實檢^{カク}し虚と去り改正
して此實録と得たり是千古稀有の快事なり但
年々に人員蕃衍^{カク}するを以て當年の推測と以て
來年と待べう^{カク}と假令傳染^{カク}の疾疫饑饉^{カク}不^{カク}因て

死亡するとあるも全州人員の數小於てハ増減
する^{カク}こと甚^{カク}寡^{カク}一^{カク}大約 我文化十三年より天
保元年小至るま^{カク}と十五箇年の間ハ歐羅巴^{カク}全州
より^{カク}○都爾格厄勒祭亞^{カク}と除て云○三千三百八
十四萬零々八十人と増息を是と以て考るとさ
ハ毎年百人ありて一人と増殖する小當まり是
全く泰平の世然ら^{カク}むと^{カク}い^{カク}へとも後世又至て
も今日より人員と増殖する^{カク}こと疑^{カク}べ^{カク}う^{カク}と^{カク}但
此數ハ全州と總論する也細小推算する^{カク}とき^{カク}ハ

其國土に隨て毎年百人ありて一人を増ともあり否ざらもゆり必しも一定の論ありは
我天保六年冬古記を改削して新小全州人員と記載する書に據まば本州人員と總計して二億三千三百四十七萬八千零五十八名と云中、小就て九百四十萬餘に都爾格國人に係り九十萬餘に厄勒祭亞人に係る惟此州及び俄羅斯國ハ二大洲に跨亘ると以て人民彼此互に同居し其數を詳よと云べし然れども今其大政官の記

載に據て下し其人口を列開を

本洲の疆界に他の大洲に比すれば甚ぞ狭小なりといへども人民の數を里方に比して論するところ甚ぞ多し本州廣袤一十五萬四千三百九十七箇里方積なり而して之に人民の數を平均すれば每一里方一十五百十二人と容る亞細亞の疆界に廣袤七十六萬二千箇里方積なり之に人民の數を平均すれば每一里方二百四十六人と容る本州斯の如く人民夥多ありて一箇里

方より一千五百十二人と容といへども各國人民
の多寡あり假令バ王国ベルギーの如きハ一箇
里方小七千八百九十四沙瑣尼亞ハ五千八百一
十四其以下英吉利意而蘭土涅埵爾蘭土等ハ四
千より五千と容る是班牙の如きハ一箇里方小
一千七百二十九人の云々〇按ずる又此論ハ山川
曠原を平均して人員を一箇幾人と測算して云
なり 我亞細亞の如きハ廣袤宏大殆ど彼州又
七倍を故小大山大川無人の境極めて多し是を

以て一里方小僅又七百四十六人又過ぐれば然ま
ども若し漢土印度地方等小て測算すれば一箇
里方又殆ど二萬餘人と容る亞細亞ハ闔州の人
員六億五千零七十二萬餘なり〇本洲の各國農
民より軍兵と選舉する法彼此異同ありといへ
ども大約百人より一人と採る年齢二十より四
十四五に至ると以て規とて其人沈實ありて身
軀肥大なりと替力人と兼る者とあくるを法と
と然まども争乱の世又當てハ七十ありて一と

採る其干戈尤も急なるを以て五十人乃至二十
五人より一を採ることあり此時又當ては壯歲
強勇を見まへ是を取のそ天資の粗暴迂遠を論
べど其性小依て或へ之を前隊と爲し或へ後隊
となし或へ遊軍となして其長ざる所小從て是
と役を方今の如き泰平の世軍人小糧食を給し
武學に住居せしめ其備とを豫備兵隊と云
魯西亞の軍隊即是より佛蘭西の如きは軍威盛
大なりと雖ども兵卒は常は農民中より選舉し

武學小入きて是を教ゆ武技習熟せらるに及で
復農小歸し争乱の事故ありとを以て召集て隊伍
小編を是を急卒備兵と云是は其費の夥多を
と省くが爲り但百人より一人を擧げ百三十
人より一人を採るの普通の法度といへども其
國境廣大にして其都府に至るの里程遠く或は
軍人を屯集するの地方隔絶なるを以て三百人
又は四百人より一を擧ることもありの按ざる
小是條の魯西亞國を指して云ふ似たり故に

佛國英國の如きハ泰平の世といへども七十又ハ八十より一人を擧ぐと云ハ按じると佛國英國ハ疆界甚ど廣大なれば人口繁行なり故方るべし○斯の如く前段擧る所の軍兵と採るの法度ハ据て闔州人員を推算すると其の本洲各國軍人の數略知るべきなり

○本洲各國人員表

第一等強盛諸國

歐羅巴俄羅斯 五千二百五十六萬四千百六十九

獨逸

佛蘭西

大貌利太泥亞

寶班牛

字漏生

三千四百一十五萬二千三百四十八
三千二百八十八萬六千五百四十三
二千五百萬零々七千五百七十一
一千四百五十九萬七千七百七十六
一千三百二十三萬零八百零三

○十二王國

兩西齊里亞

七百八十四萬零四百十四

以上各國人員總計一億七千二百四十三萬九千二百十口

鍛而地尼亞

四百五十五萬二千三百九十七

ベイエレシ

四百二十五萬八千九百四十四

各因那爾勿惹亞

四百一十四萬二千九百二十二

ベルギー

三百八十九萬二千一百三十五

葡萄牙

三百二十二萬四千九百二十六

殿堂國

二百六十九萬六千零二十二

涅埜爾蘭甸

二百五十萬零四千二百五十九

弟那瑪爾加

二百零二萬八千二百四十六

ハノール

一百六十五萬零八百八十四

ウルテムベルグ

一百六十萬零九千六百零八

沙瑣尼亞

一百五十八萬一千五百二十六

以上各國人員總計三千九百九十八萬二千二百八十三

○九大赫督撫國

官名の解釋ハ下の獨逸連合州大赫督撫國の

下又見ゆ

ケウルヘスセシ

六十六萬七千二百一十五

トスカマ子

一百三十四萬四千三百五十六

バーデン	一百二十三萬七千一百一十三
ヘスセ	七十四萬九千二百九十二
メクシコ	四十五萬九千五百八十二
リキセム	三十一萬五千五百二十三
ヲルテ	二十六萬一千一百八十九
サキセン	二十三萬八千四百九十一
メクシコ	八萬六千九百九十一

以上各國人口總計五百三十五萬九千七百五十三

○十一 赫督撫國 ○官名の解譯前と同

パルマ	四十五萬九千四百四十五
モデナ	三十九萬五千二百六十六
ナスサウ	三十六萬七千二百三十三
ブリンス	二十五萬零六百九十八
サクセン	一十六萬二千二百八十五
サクセン	一十四萬二千零六十四
サクセン	一十一萬六千三百二十九
リュウカ	一十四萬九千八百八十一
アナルト	五萬九千三百五十七

アナルトルビュルク

四萬四千六百二十四

アナルトコリーテン

三萬七千零八十八

以上各國人口總計二百十八萬四千二百六十二

○十一 豐瑟督國

官名解譯ハ獨逸連合州豐瑟督國の下ニ見ゆ

リツヘテトモルト

八萬零五百五十三

サカユムビュルクリツヘ

二萬四千二百八十三

ウアルデツキ

五萬八千八百四十四

スウアルツビュルクグツドルハウセン

五萬二千八百零二

スウアルツビュルクグツドルスタット

六萬一千八百

レユスラウドステリーニ

二萬五千二百三十四

レユスヨングステリーニ

六萬零四百九十一

ホヲンソルレルンヘツシケン

二萬一千六百三十

ホヲンソルレルンヘツマリケン

四萬三千二百零七

リクテンスティン

六千二百一十四

ヘスセンホムビュルク

二萬三千一百零三

以上各國人口總計四十五萬八千六百六十一

○ 獨立共和國

赫勿萋亞	二百一十五萬九千二百五十二
ヨニセ諸島	一十七萬五千三百九十八
カラカユ	一十萬零九千二百三十七
サンマリノ	八千
ハムビュルク	一十五萬
フランキフルト	五萬四千
ブレエメン	五萬二千
リュベキ	四萬六千五百零三
以上各國人口總計	二百七十五萬四千三百九十

總計 二億二千三百一十七萬八千零五十八

王國 厄勒祭亞 九十萬

ラトマニセレイキ 即帝國都爾格 九百四十萬

歐邏巴闔洲總計人口 二億三千三百四十七萬
八千零五十八

○ 卷中 小每事 幾年前と年數と記をり のり 皆
皇國 弘化元 甲辰年 小のり 言也

萬國輿地圖說

歐邏巴終

二十萬八千零五十八

五十八

內陸地人口一萬三千四百四十五萬

海濱地人口一萬一千四百萬

六千萬

四

